中南米地域の教育事情

令和元年10月7日(月)

聖心女子大学４号館/聖心グローバルプラザ4-2教室

江原裕美（帝京大学外国語学部）

発表の目的と順序

発表の目的

中南米地域の教育事情概観

中南米地域における日本型教育

ー１つのフレームワークの提供

発表の順序

1. 新時代?に入った中南米
2. 教育の拡大
3. 質に関わる諸要因
4. 日本型教育の優位性とは

ラテンアメリカは新しい局面に入った

- 低中所得国から高中所得国へ
- ブラジル(2008)、コロンビア(2012)、ドミニカ共和国(2012)、エクアドル(2012)、パナマ(2014)、ペルー(2012)、パラグアイ(2017)

- 高中所得国から高所得国へ
- チリ(2018)、ウルグアイ(2018)、パナマ(2020?)

ラテンアメリカ諸国の経済的位置

経済的定義　By the World Bank 2018

低所得国　　ハイチ

低中所得国　ボリビア、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア

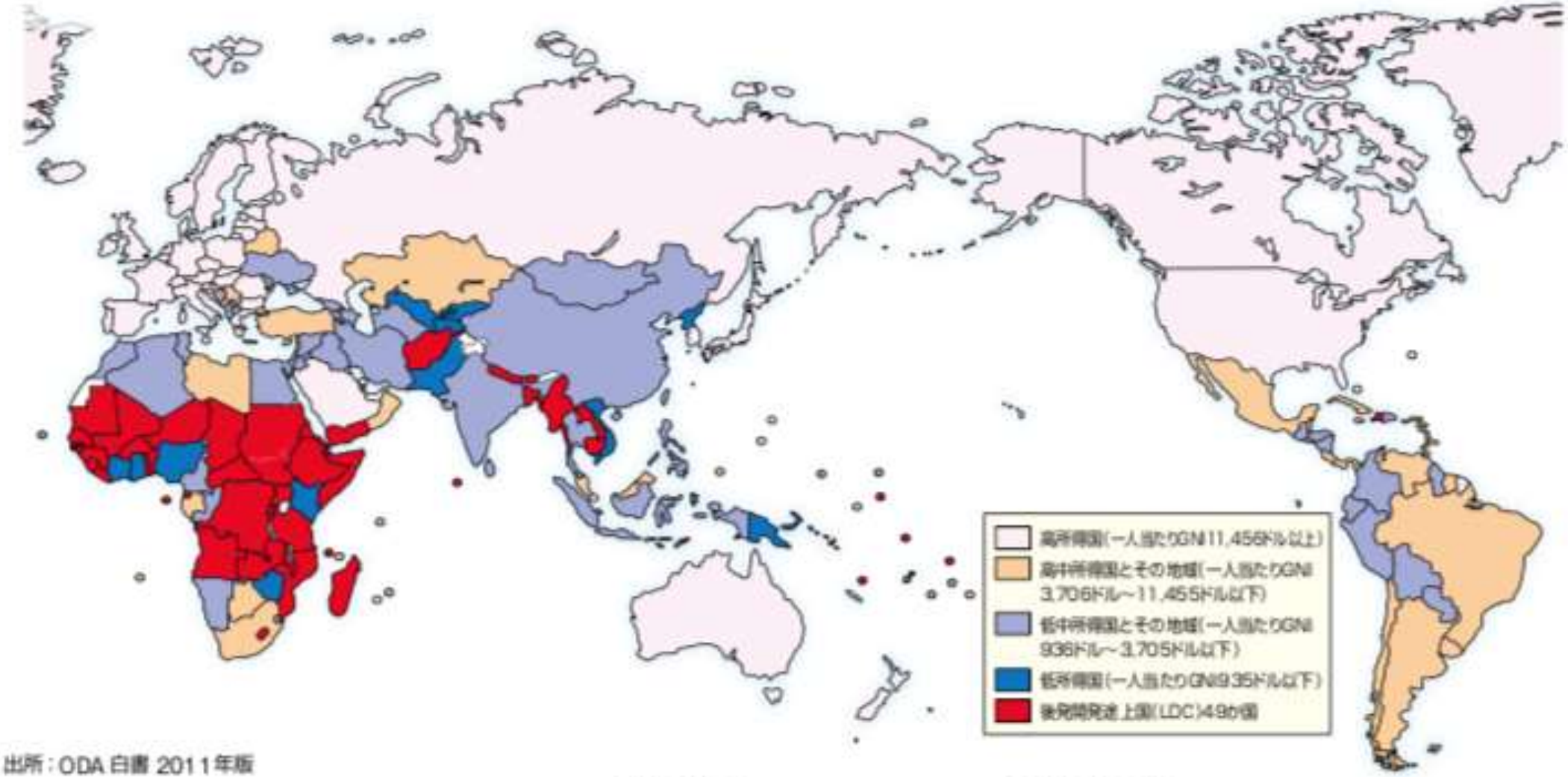
高中所得国　アルゼンチン、ベリーズ、ブラジル、コスタリカ、コロンビア、キューバ、ドミニカ、ドミニカ共和国、エクアドル、ジャマイカ、メキシコ、　パナマ、パラグアイ、ペルー、ベネズエラ

高所得国　　チリ　ウルグアイ(両国とも2018年1月から)

（2016　一人当たりGNIによる）

資料1 各国の一人あたり国民総所得（GNI）と先進国の政府による援助

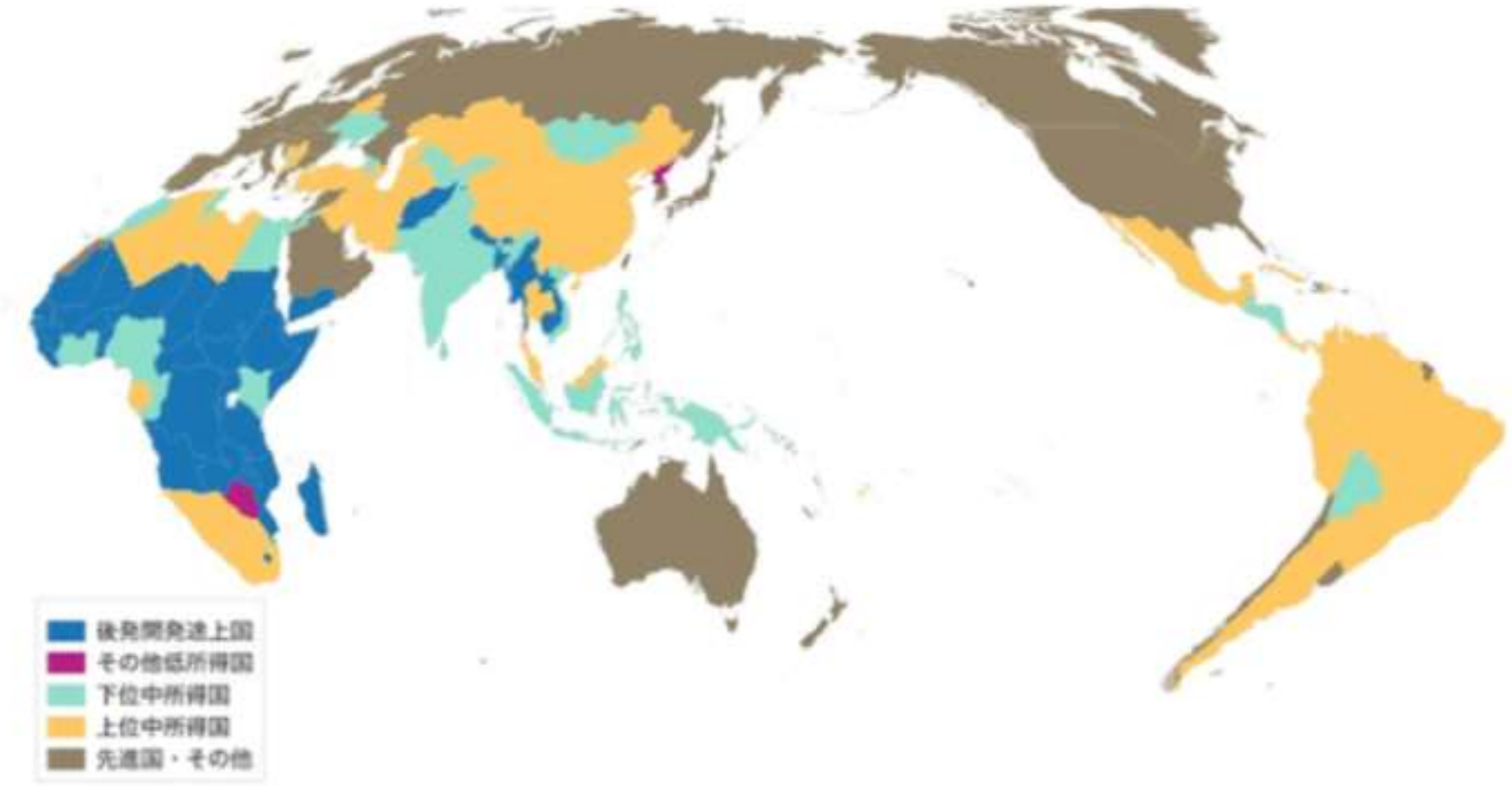
■ DACの援助受取国



出所：ODA白書 2011年版

グローバル化ショックへの「覚醒期」から自発的近代化への「始動」期に入ったか

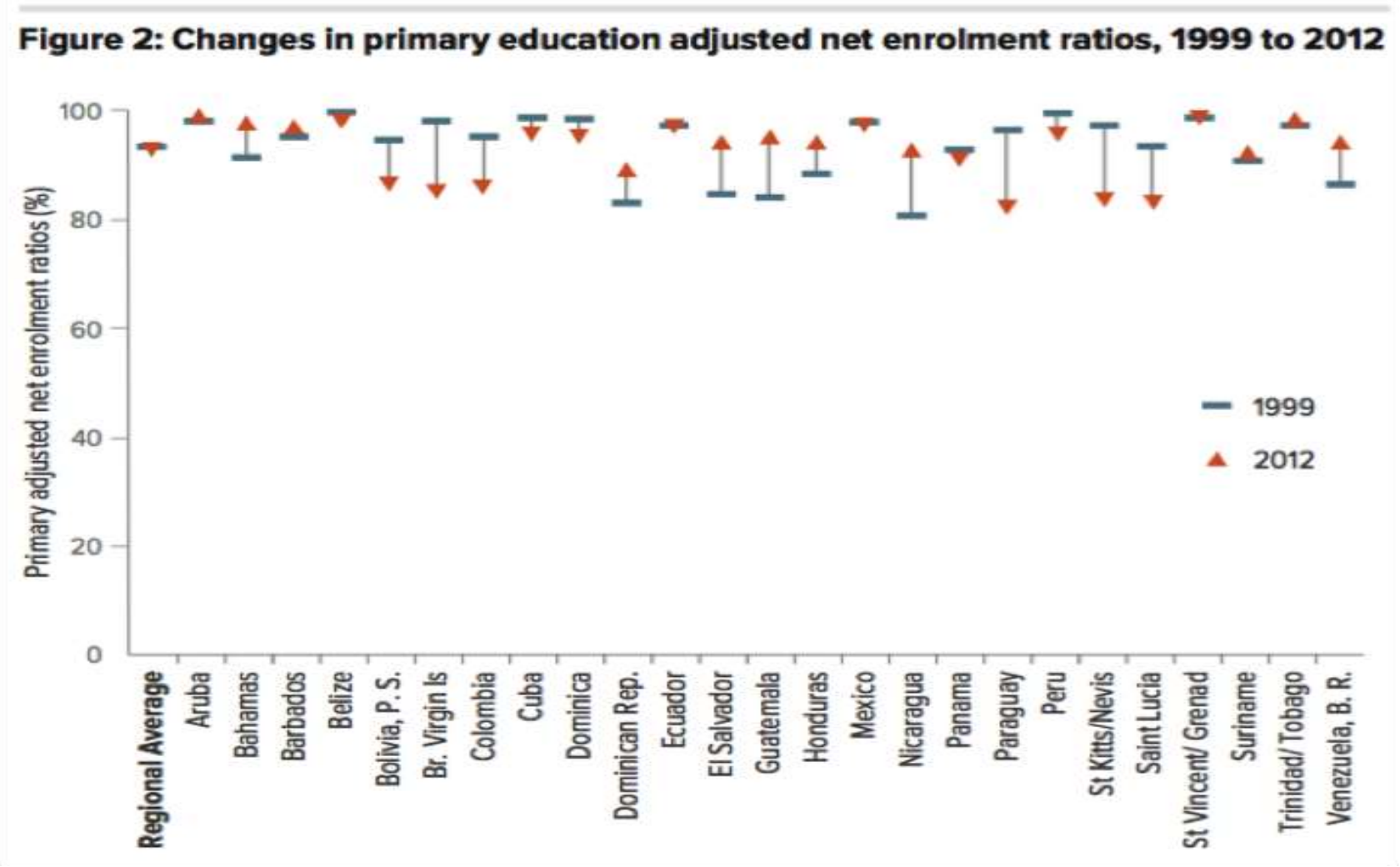
図：OECD のリストに基づく発展途上国の分布



（出所）DAC List of ODA Recipients, Effective for reporting on 2018, 2019 and 2020 flows より筆者作成。

回答 開発研究センター 熊谷聡（くまがいさとる）

ラテンアメリカ　初等教育の普及 EFA Global Monitoring Report Regional Overview: Latin America and the Caribbean, p.3.

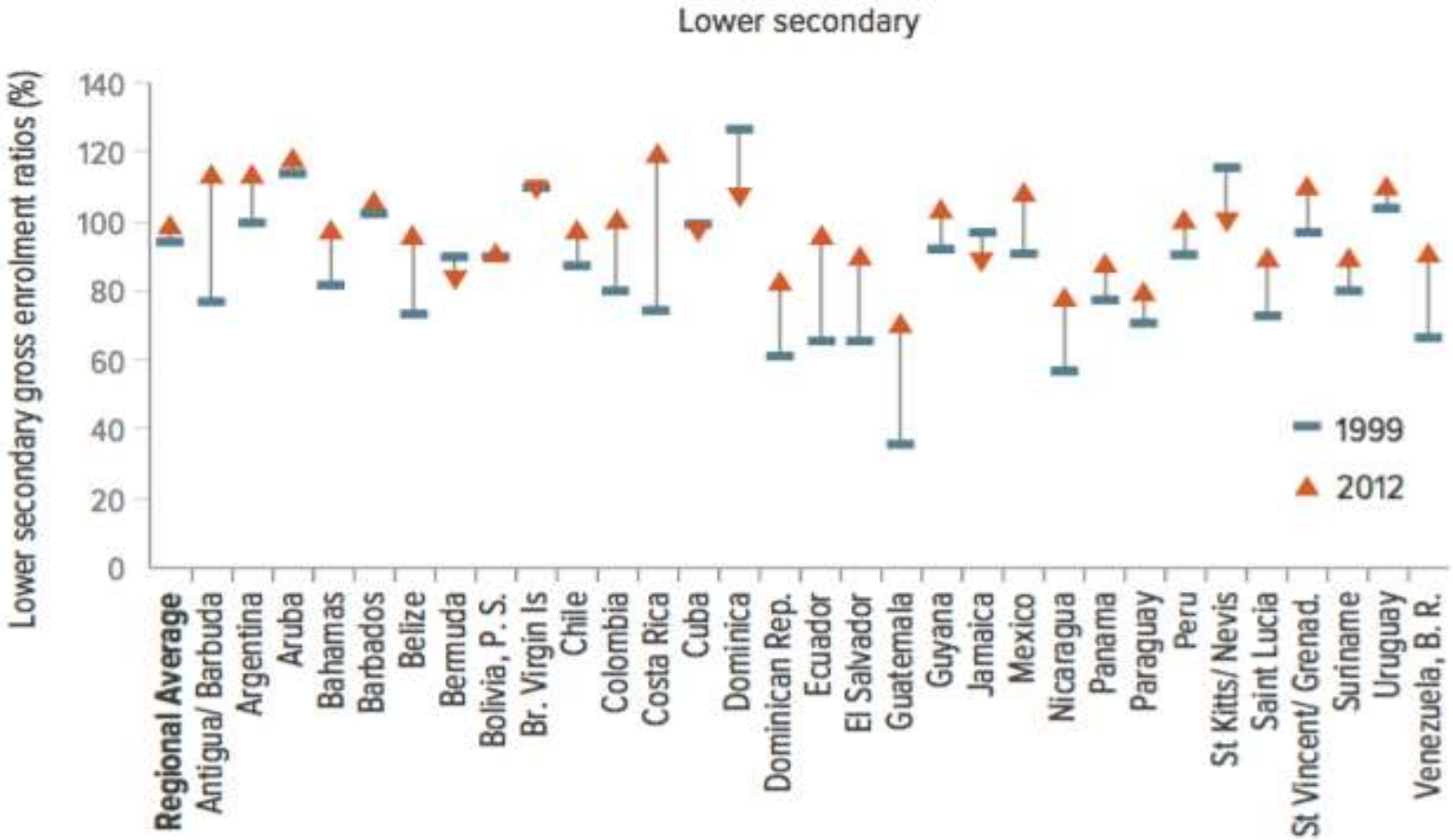


ラテンアメリカ　初等教育の普及　　UNESCO統計より

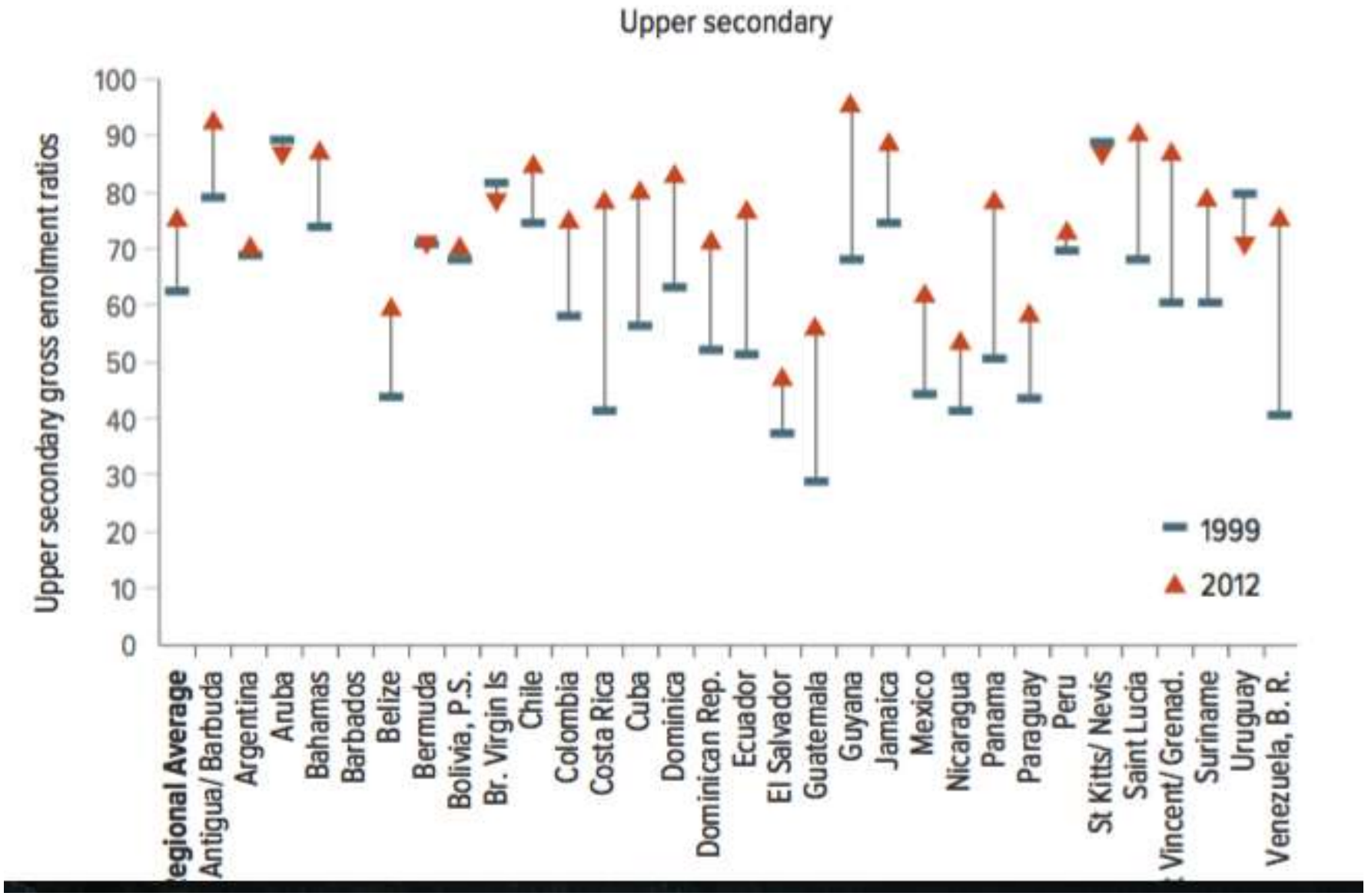
- 純就学率　　中南米地域　93.72% (2018)
- 29ヶ国中17ヶ国が純就学率97%以上 (2015)
- 未就学児童は2267089人(2018)。
- 初等教育留年率　　全学年で4.39% (2018)　世界では3%台。
- 初等教育の最終学年到達率は、80%台のグアテマラから99%超のチリまで。地域としての到達率は、86.12% (2017)。
- →中途退学者数1453317人(2018)。最終学年までの中途退学率13.88%(2017)
- 貧困、民族、地理的位置により格差のある就学状況。

ラテンアメリカ　中等教育の普及 EFA Global Monitoring Report Regional Overview: Latin America and the Caribbean, p.4.

Figure 3: Lower and upper secondary gross enrolment ratios, 1999 to 2012



ラテンアメリカ　後期中等教育の伸び EFA Global Monitoring Report Regional Overview: Latin America and the Caribbean, p.4.



ラテンアメリカ　中等教育の普及　ユネスコ統計より

- 前期中等教育年齢の未就学率　7.23% (2018)
- 純就学率はラテンアメリカ全体で76.78%
- ブラジル80.24%(2017)から、ボリビア65.68%など。

- 後期中等　　純就学率はチリ83.49%(2017)からペルー64.27%(2018), ブラジル58.76%(2017)、コロンビア42.49%(2018) など。

- 中等教育の留年率　ラテンアメリカ全体で8.53%(2018)あまり変化なし。
- ペルー3.65%(2018)、チリ4.07%(2017)、グアテマラ5.15%(2018)など。

ラテンアメリカの教育改革　　初等教育を中心に　（筆者作成）

国名　改革のキーワード	目的	教育行政　主な改革	公教育の資金確保	貧困者対策	学校教育関係
メキシコ 教育の近代化目指す	基礎教育の普遍化と質の向上、教育制度の近代化	憲法、総合教育法制定、基礎教育の地方分権化、中学校の義務化、私学の規制緩和	分権化と同時に遅滞的な地域への補償、教師の待遇改善への三者合意（国、州、組合）	Progresa, Oportuni-dades	授業日数の確定（200日） PARE PIARE 遅滞克服の総合プログラム
ブラジル 憲法規定の実現	基礎教育の普遍化と質の向上	分権化と学校機能の強化 教師の待遇向上評価制度	FUNDEF（税、交付金の 15%プール。登録者数に応じて自治体へ。60%教員給与へ） FNDE,Fundescola	Bolsa Escola, Bolsa Familia	カリキュラム基準の策定、学校の全日化、包括的教育と地域社会連携モデル
チリ 新自由主義的教育政策	教育の機会均等と公費負担の適正化	分権化、教員の非公務員化、バウチャー方式の国庫助成、大学制度の再編	学校選択制、バウチャーによる公立と私立の競争（毎月の出席者数で振り込み）国の教育支出増加。MECE		学校の全日化、P-900(貧困学校の質的改善)プログラム、12年間の無償義務教育

教育の質の現状　中南米独自の教育品質評価から

- 1998 第1回地域教育品質調査
- 2006 第2回地域教育品質調査(SERCE)
- 2013 第3回地域教育品質調査(TERCE)　18カ国
- 2019 第4回地域教育品質調査(ERCE)　　18カ国

- ユネスコサンティアゴ事務所とラテンアメリカ教育品質評価研究所とで18か国程度が参加.
- 小学校3年生と6年生の読解、算数、6年生の理科について実施。教師や校長への調査も。1－2年後をめどに評価発表。

第３回地域教育品質調査結果
小学３年読解
2006年2013年比較

平均は494.28から

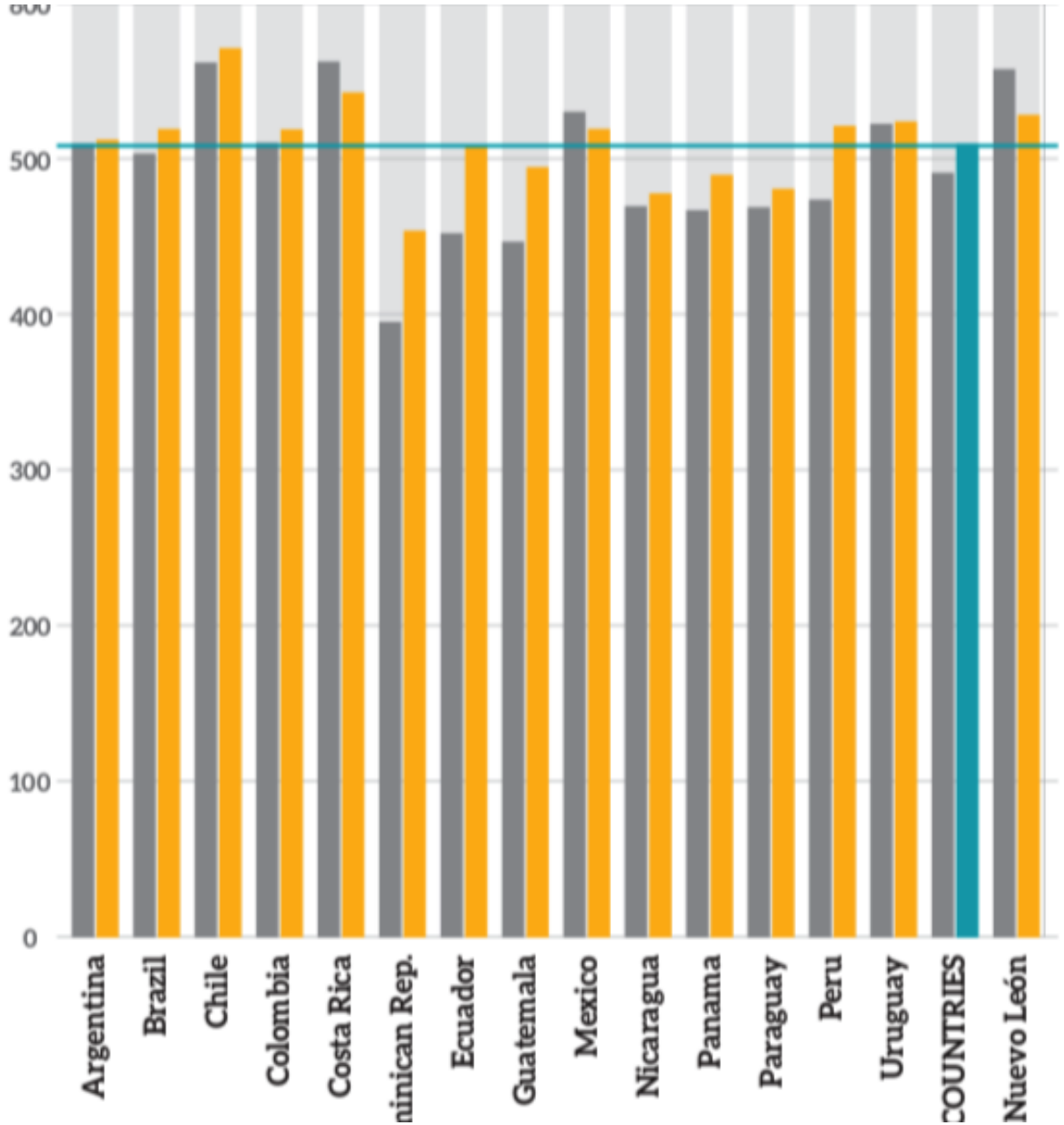
506.64に12.36点の上昇。

エクアドル43.26

グアテマラ37.57

ドミニカ共和国34.47上昇。

コスタリカ、ウルグアイは下降

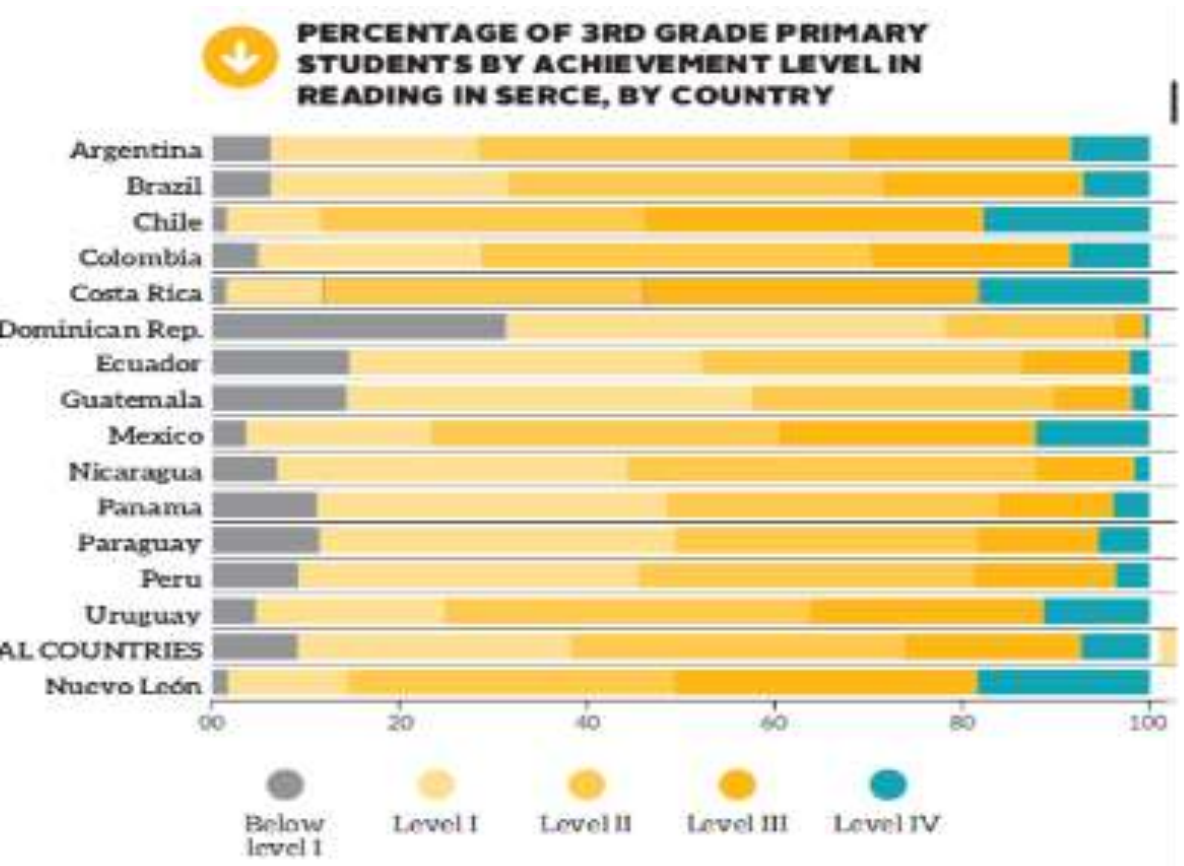


小学３年読解　2006年と2013年比較

レベルI以下+I=38.21

レベルII=35.51

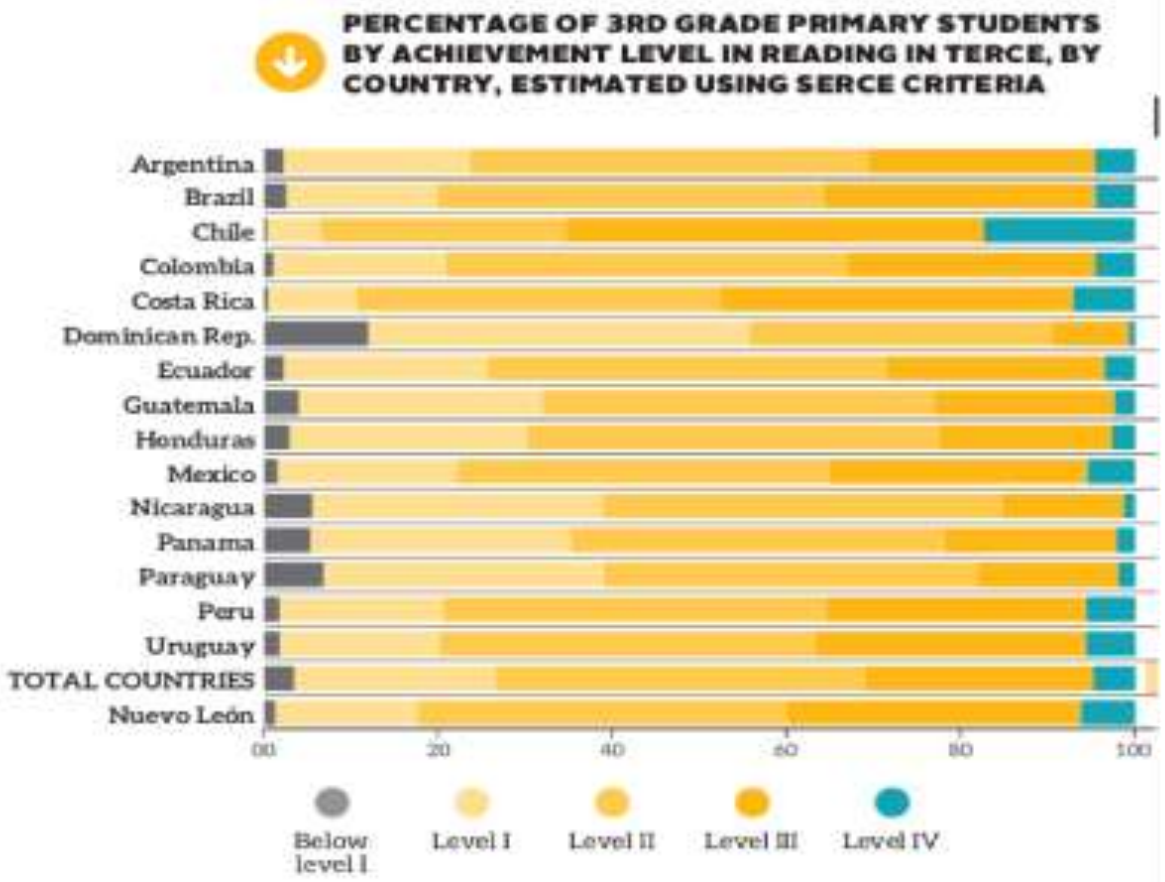
レベルIII+IV=26.28



レベルI以下+レベルI=26.48

レベルII=42.37

レベルIII+IV=31.15

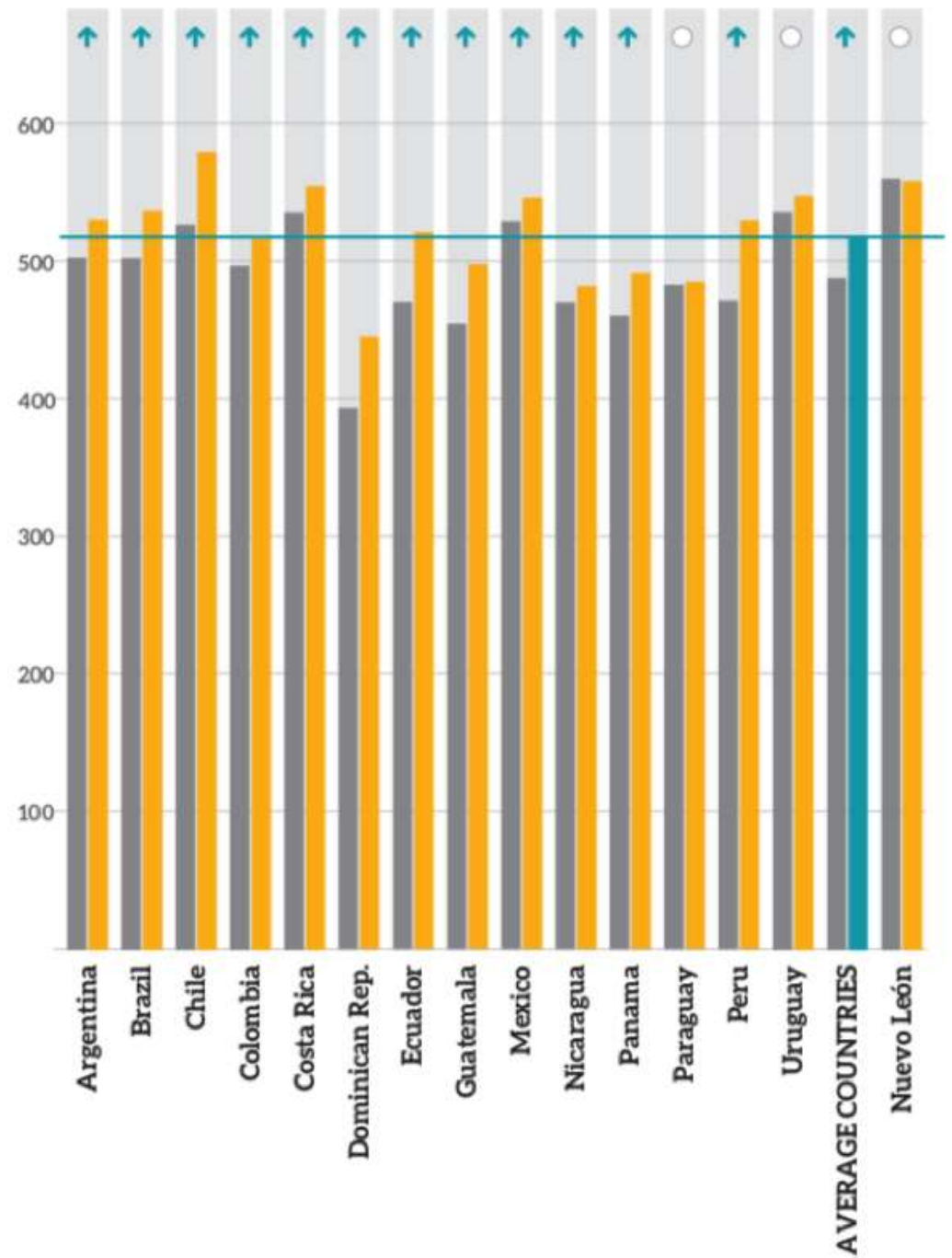


小学３年算数
2006年2013年比較

平均は490.67から
521.70に31.03点の上昇。

ペルー58.80
チリ52.98
ドミニカ共和国52.38上昇。

メキシコ　ヌエボレオン州
は下降

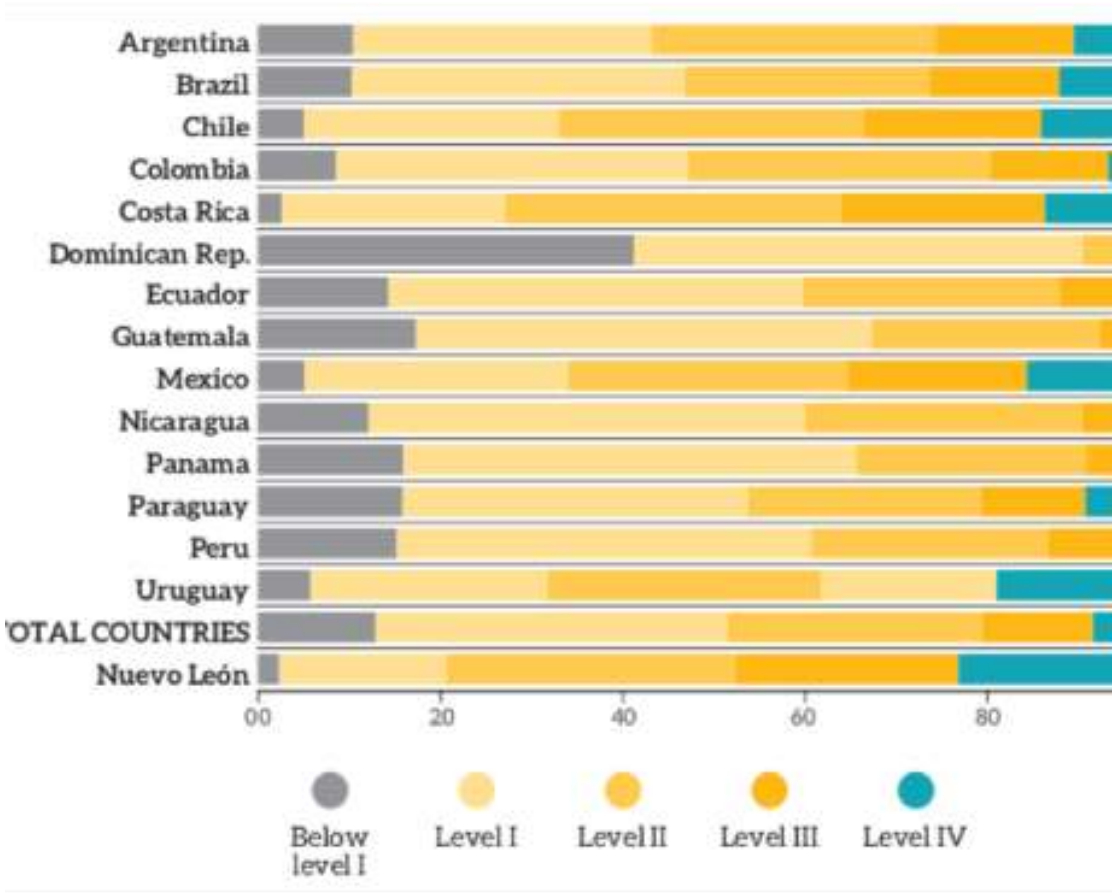


小学３年算数　2006年と2013年比較

レベルI以下+I=51.5

レベルII=27.94

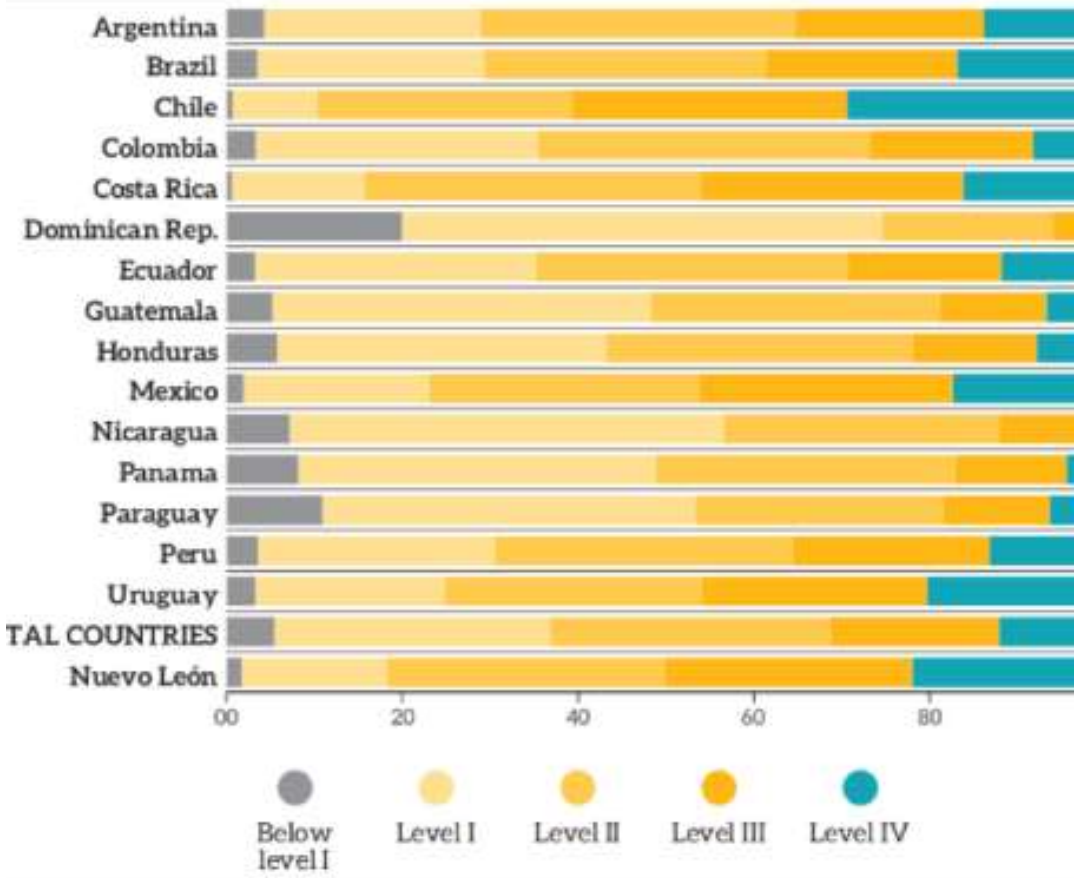
レベルIII+IV=20.56



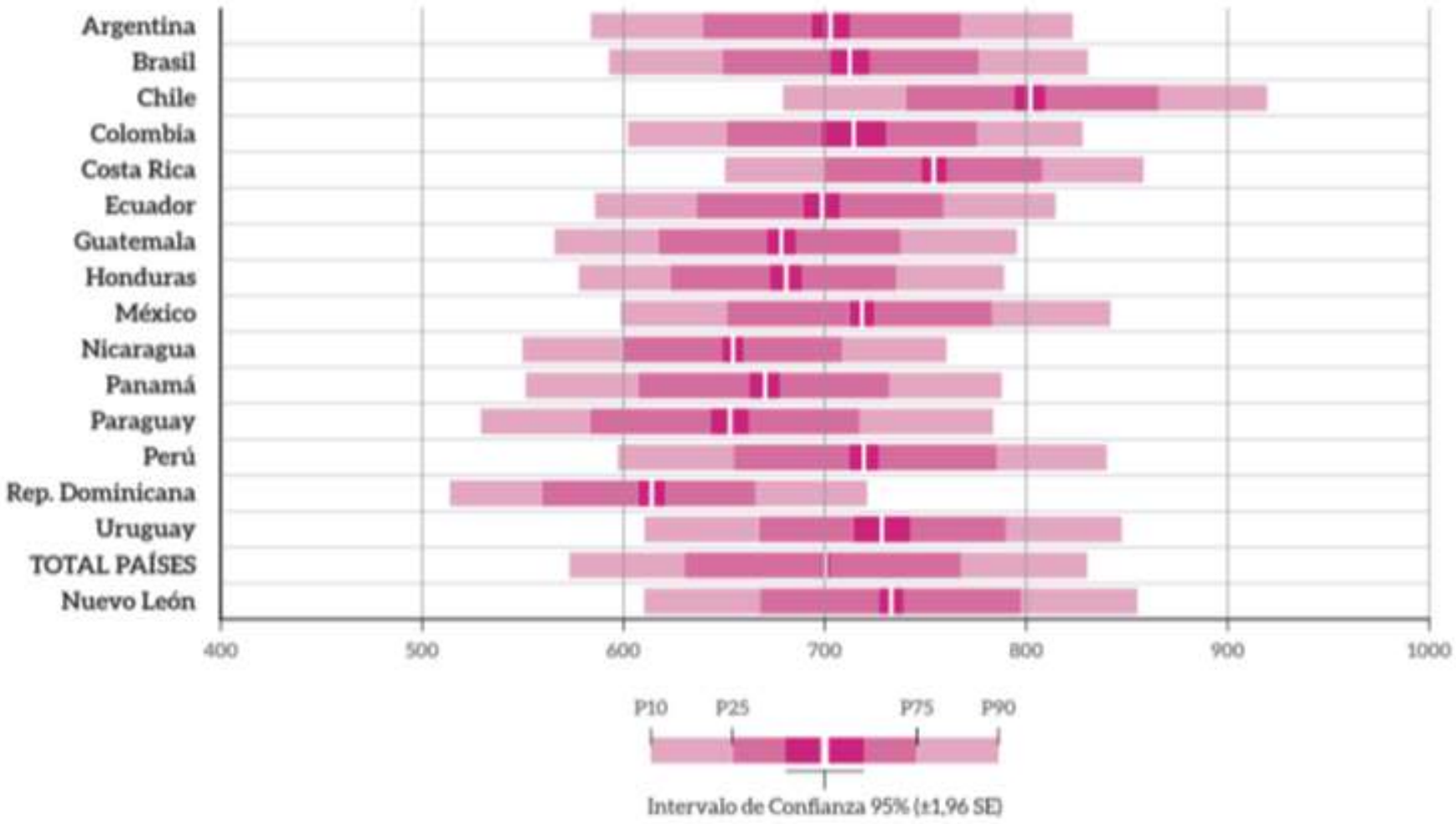
レベルI以下+I=36.75

レベルII=31.97

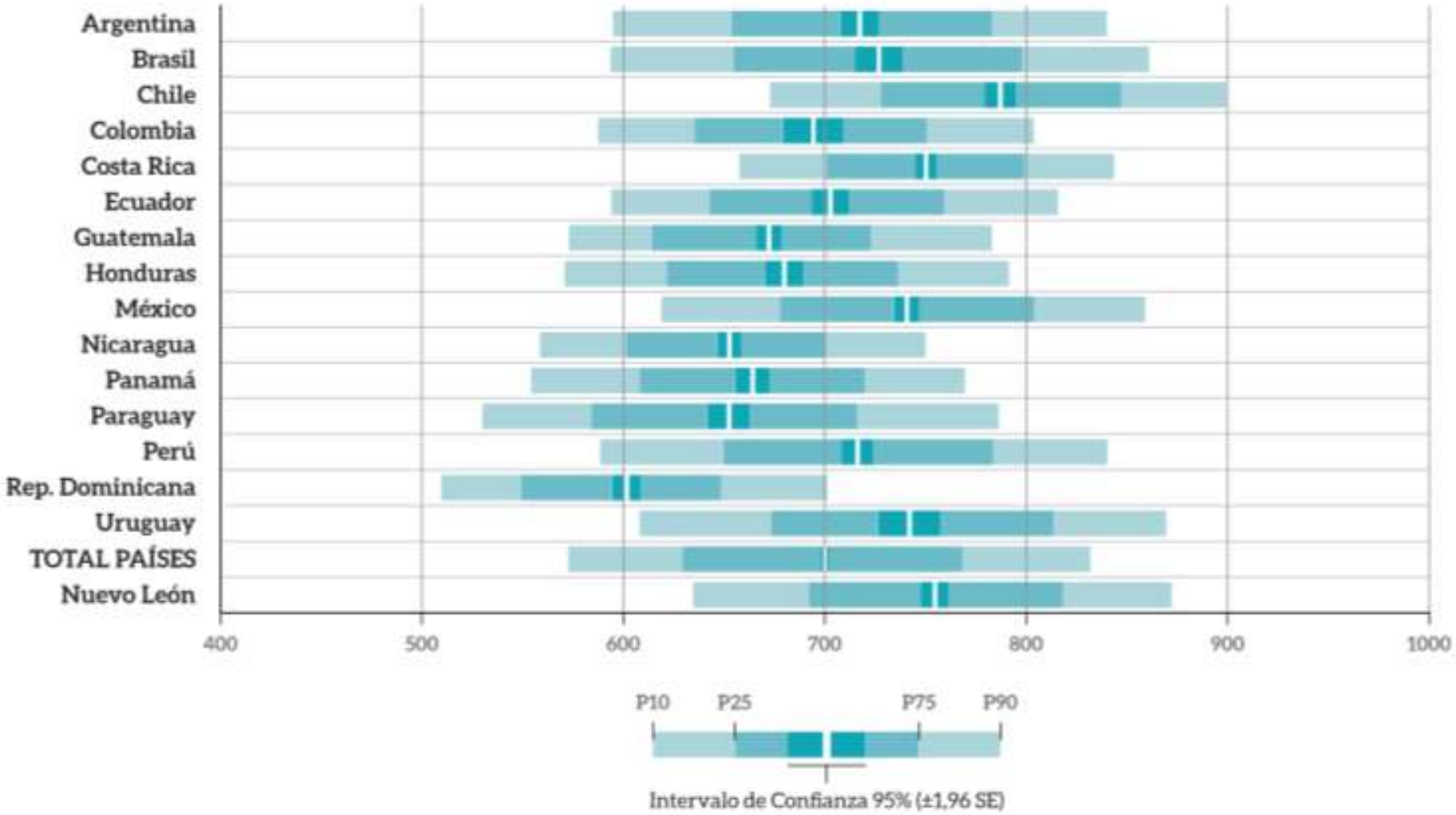
レベルIII+IV=31.27



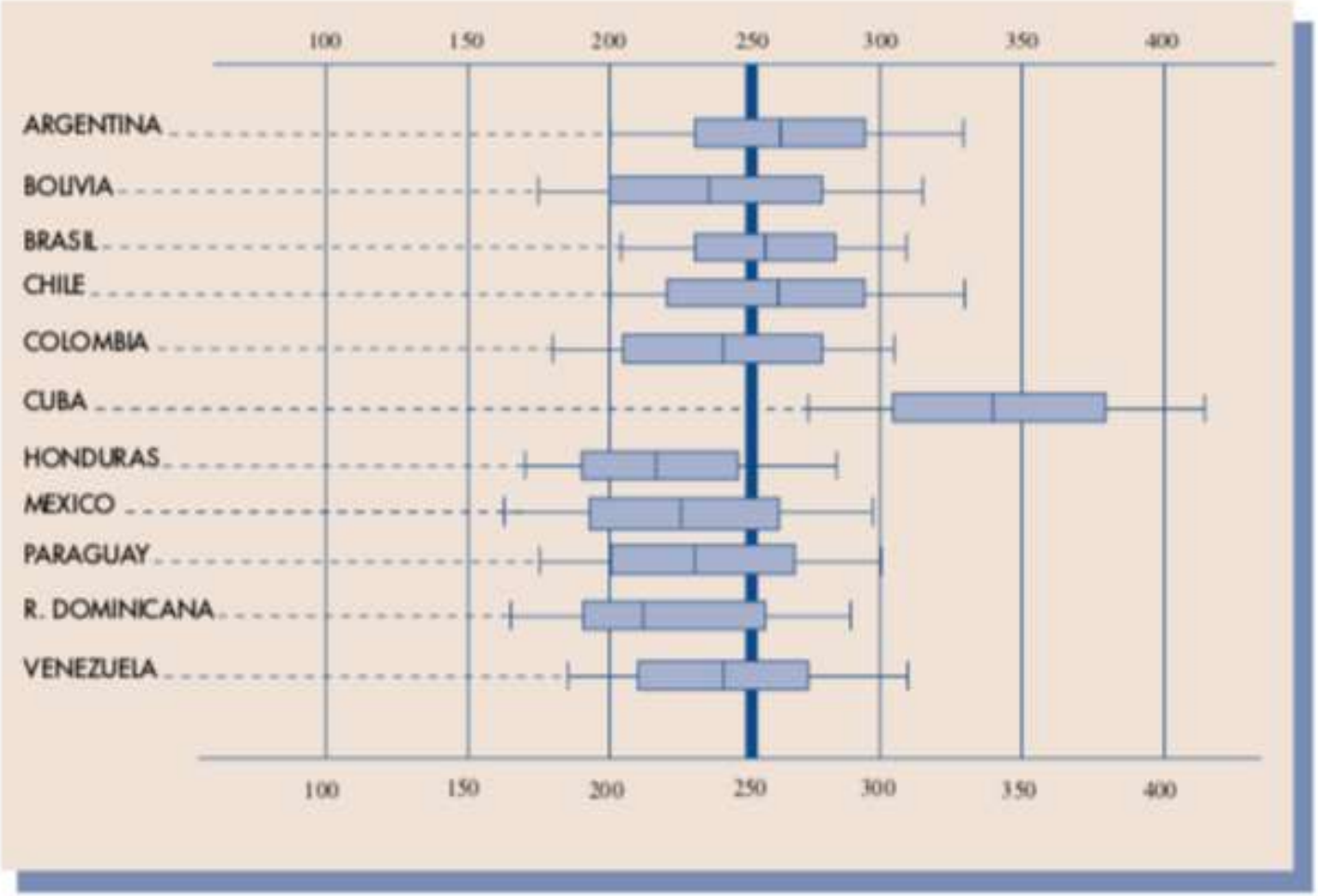
小学3年生読解　学力テスト結果　TERCE報告書 2013



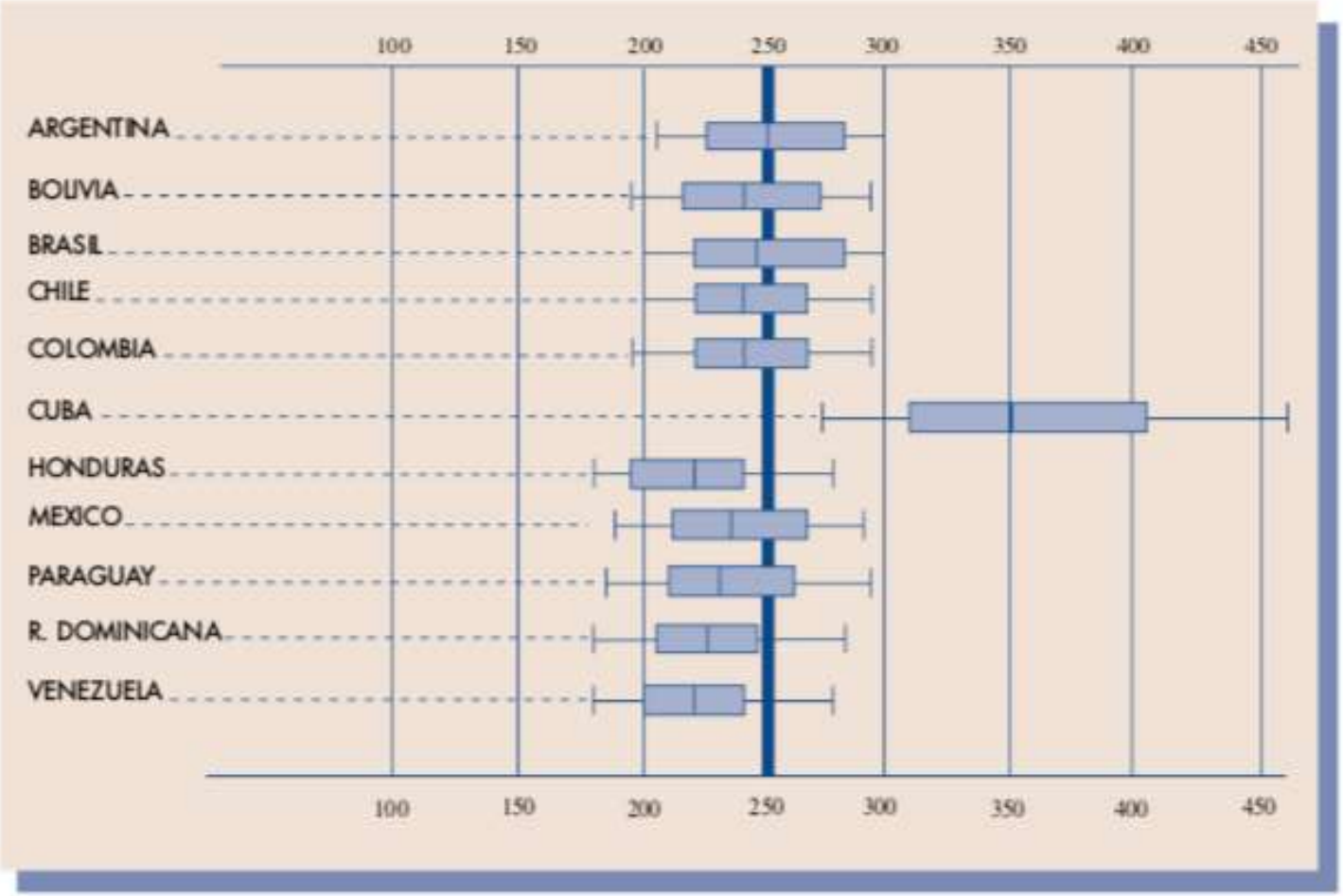
小学3年生算数　学力テスト結果　TERCE報告書 2013



小学校3年生言語　学力テスト結果　LLECE第一報告書、1998、p.22.



小学校3年生算数　学力テスト結果　LLECE第一報告書、1998、p.24.



教育の成果の一つ　学力

- PISA 2015

- 科学リテラシー56カ国中　　（日本２位）
  チリ41位　ウルグアイ44位、コスタリカ48位、コロンビア50位
  メキシコ51位、ブラジル53位、ペルー54位、ドミニカ共和国56位

- 読解力70カ国中（日本８位）
  チリ42位からドミニカ共和国66位の間に分布

- 数学的リテラシー（日本５位）
  チリ48位からドミニカ共和国70位の間に分布

TABLA 3.3 FACTORES ASOCIADOS SIGNIFICATIVAMENTE AL RENDIMIENTO EN LECTURA 3° PARA LA REGIÓN Y LOS PAÍSES

COEFICIENTES DEL MODELO MULTINIVEL	AL¿C	Argentina	Brasil	Chile	Colombia	Costa Rica	Cuba	Ecuador	El Salvador	Guatemala	Nicaragua	Nuevo León	Panamá	Paraguay	Perú	R. Dominicana	Uruguay
NIVEL ESCUELA																	
Escuela rural						-			+			-					
Escuela urbana privada		+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	+	
Computadoras disponibles para estudiantes de 3°	+				+			+	+	+			+				
Índice de infraestructura	+		+	+							+				+		
Índice de servicios básicos de la escuela	+				+			+					+		+		
Clima escolar	+	+	+	+	+	+	+		+	+			+	+		+	+
Docente tiene otro trabajo	-				-					-							
Índice de contexto educativo del hogar (promedio escuela)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		+			+		+
Índice de gestión del director	+		+	+													
NIVEL ESTUDIANTE																	
Niña	+	+	+				+					+	+	+		+	+
Indígena	-		-	-	-	-		-			-	-		-	-		
Estudiante trabaja	-		-	-	-	-	-	-	-			-					
Estudiante ha repetido grado	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Años de asistencia al preescolar	+	+	+	+		+			+			+					+
Clima percibido por los estudiantes	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
Índice de contexto educativo del hogar	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

Significativa al 5%

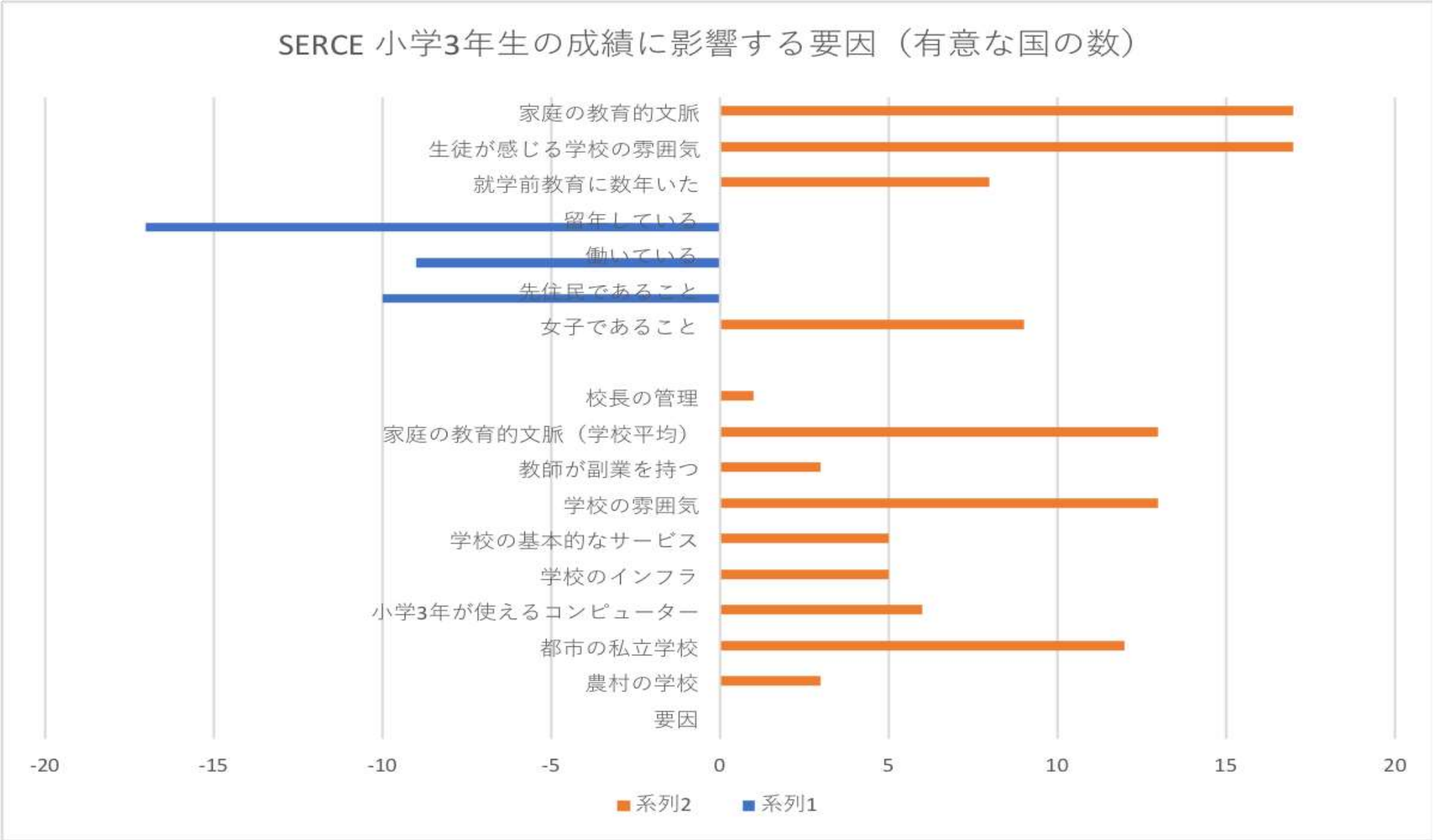
Significativa al 10%

第２回教育品質調査(SERCE)による関連要因の調査

多く当てはまるもの
＊＋都会の私立学校
＊＋学校の雰囲気
＊＋家庭の教育的文脈

＊－生徒の留年
＊＋生徒が受け止める教室の雰囲気
＊＋家庭の教育的文脈

OREALC/UNESCO Santiago y LLECE, Factores Asociados al largo de los estudiantes de América Latina y el Caribe, 2010, p. 113.



OREALC/UNESCO Santiago y LLECE, Factores Asociados al largo de los estudiantes de América Latina y el Caribe, 2010, p. 113 より作成。

学業に関係する要因を抽出　SERCE

１．学校の雰囲気　　School Climate
２．基本的サービスへのアクセス　　トイレ、電気、飲料水等
３．コンピューターが使用できること
４．校長による学校経営
５．学校のインフラストラクチャー　　図書館、グランド、など

(SERCE報告書, 2010)

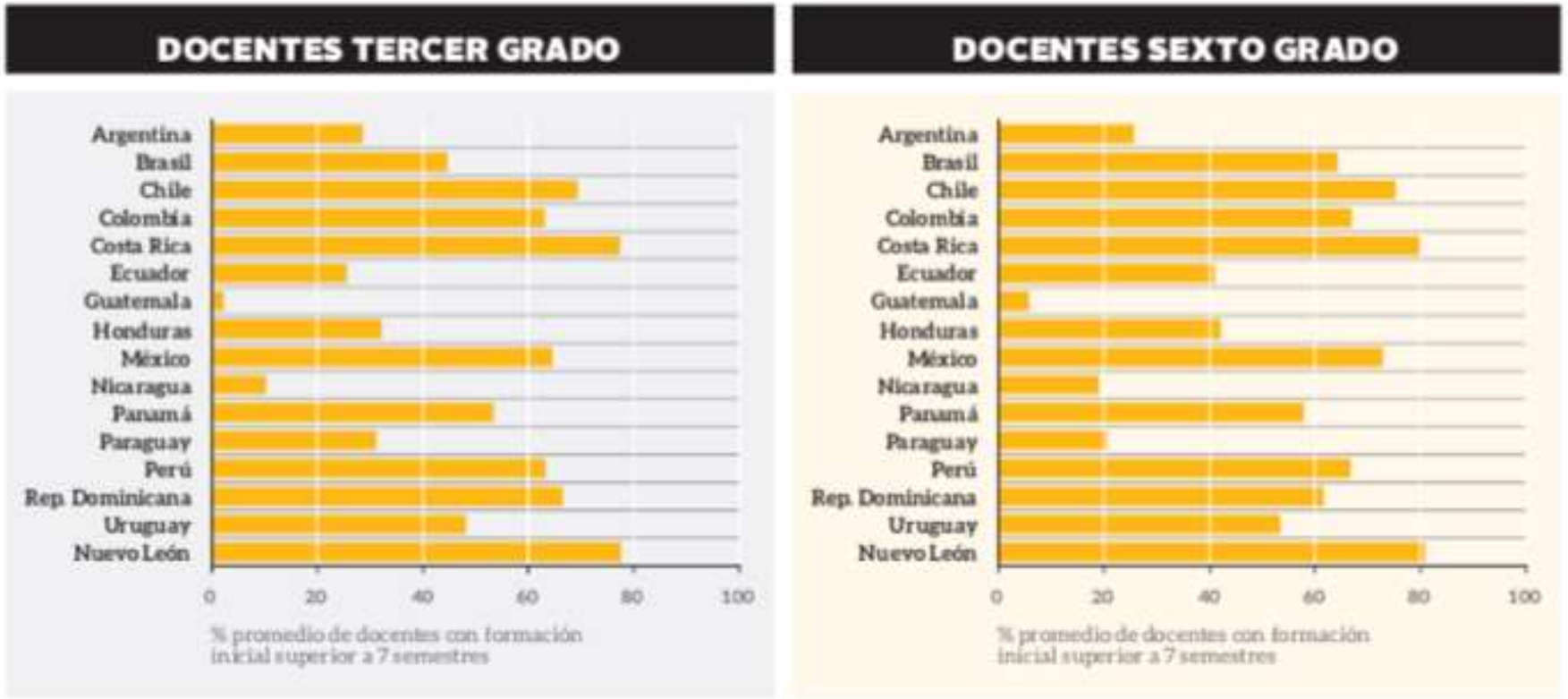
TERCE 成績に関する要因を細かく追究

- 生徒の家庭の経済的社会的要因
- 生徒の民族的出自との関係
- 留年との関係　労働との関係
- 男女別の指向

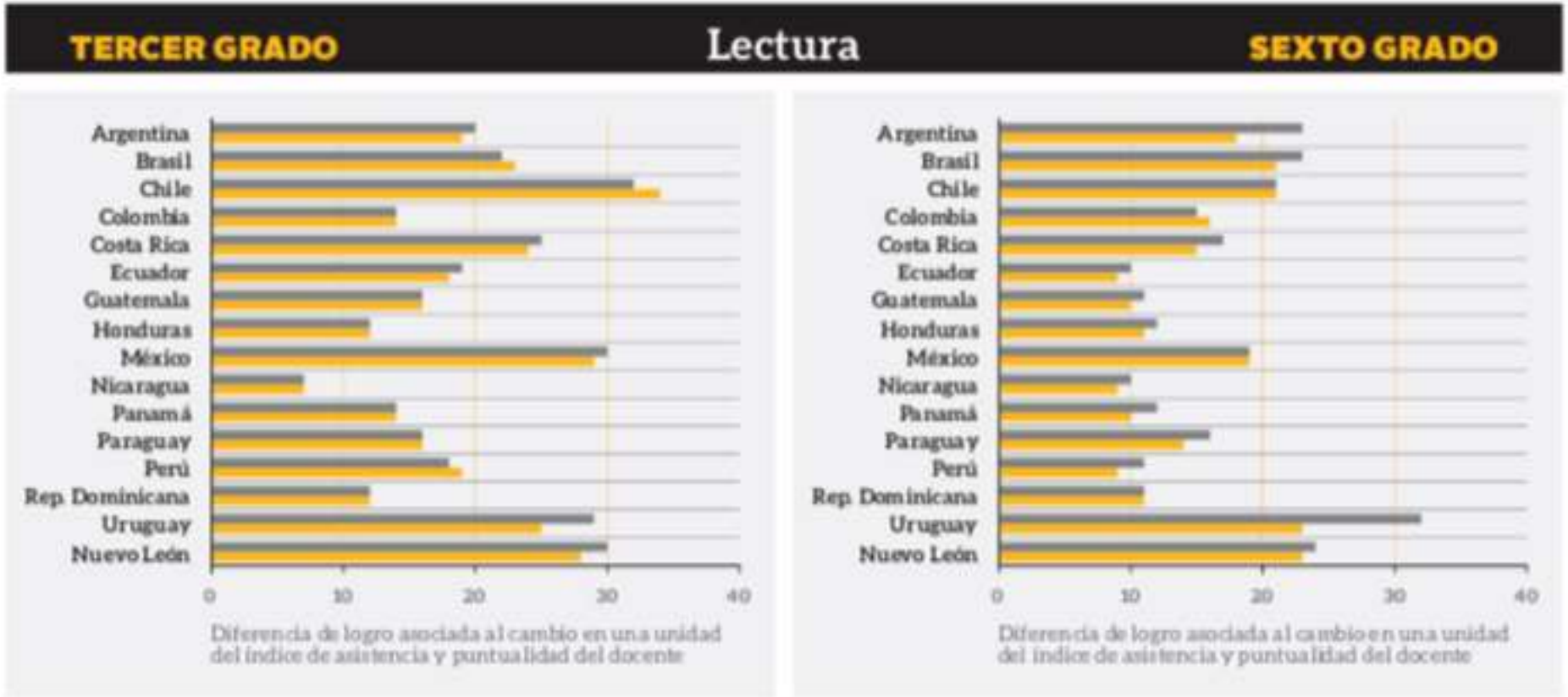
- 公立学校の設備の貧困（図書館やグランド、実験室などのインフラ農村部、貧困地域、先住民居住地域など特に）
- 電気、水道、トイレなどの不備
- 教員の資格の問題
- 教員の指導力の遅刻や欠席
- 教科書や教材、ノートの不足

7学期以上の養成課程を出た先生の割合 TERCE報告書p.95

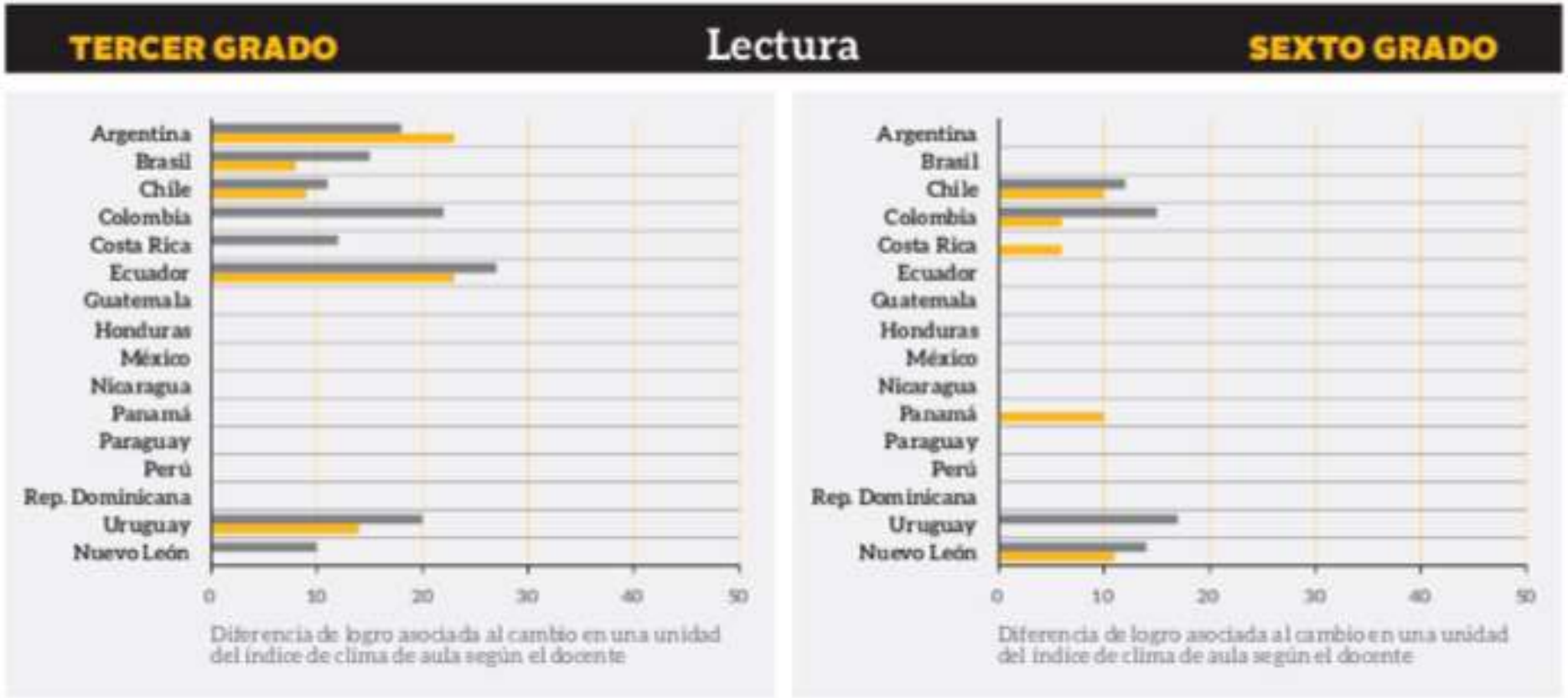
GRÁFICO 29.
DOCENTES CON FORMACIÓN INICIAL MAYOR A 7 SEMESTRES



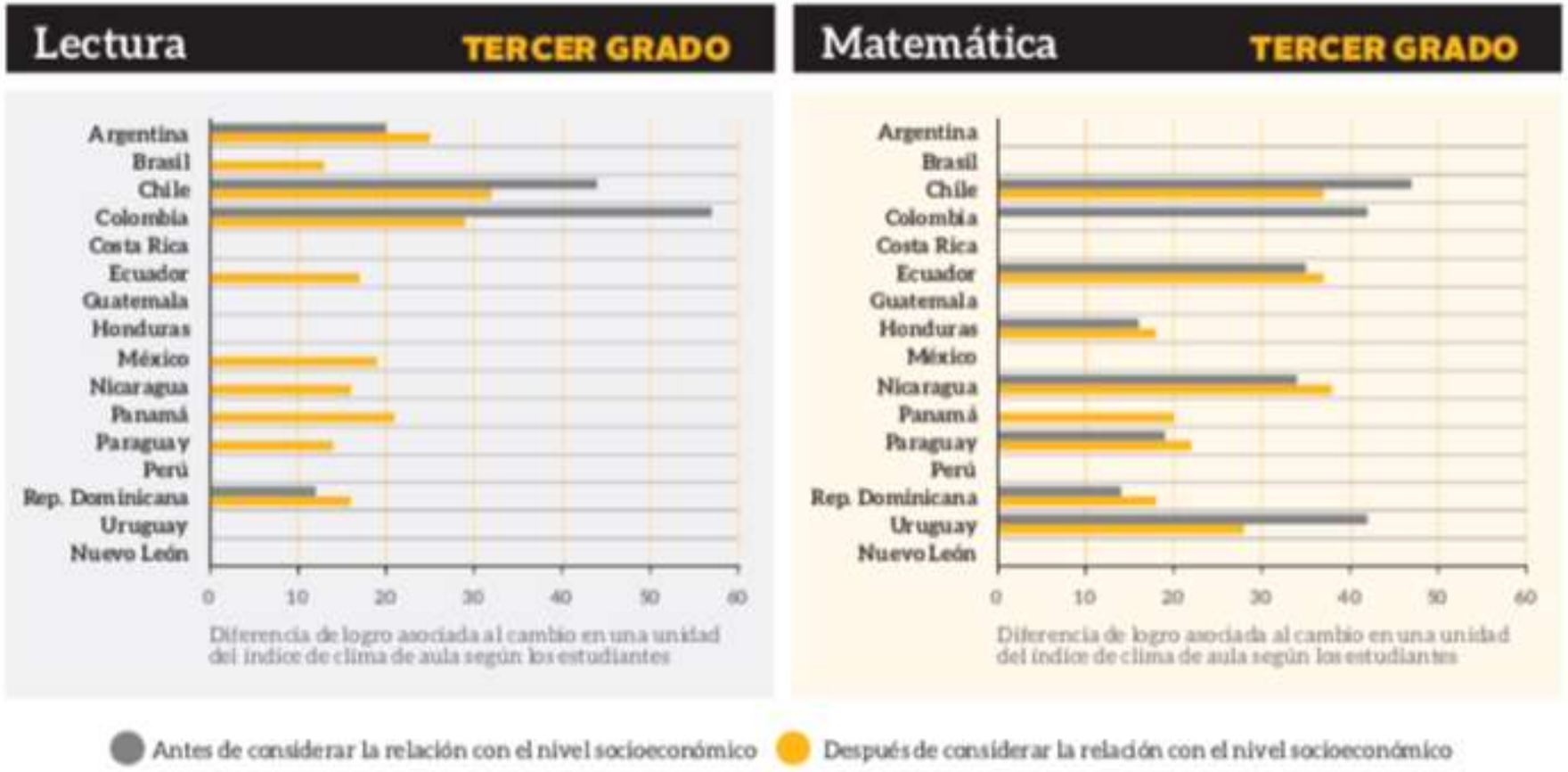
先生の出席と時間厳守の影響　TERCE報告書、p.99.



先生が受け止めている教室の雰囲気 TERCE報告書 p.111.



生徒が受け止める教室の雰囲気　TERCE報告書 p.112.



学業に関係する要因を抽出　TERCE

１．学生と家庭の特徴

影響要因　　教育歴、家庭内での教育的活動、
社会経済的・民族的・文化的特徴

- 政策、対策　⇒留年の予防、4－6歳の就学前教育、
父母の参加と脆弱な学生への支援、男女の格差を和らげる、
先住民学生との平等、
社会経済的不平等の学業達成への影響緩和

学業に関係する要因を抽出　TERCE

２．教員の特徴と教育実践

影響要因　　教員養成・訓練、
教員の遅刻と欠席、教室内の学習資源、
教室の雰囲気

政策、対策⇒教室内の実践を向上させるプログラムの開発
教室内で一人一人に教材があること
教員養成の段階を強化する

学業に関係する要因を抽出　TERCE

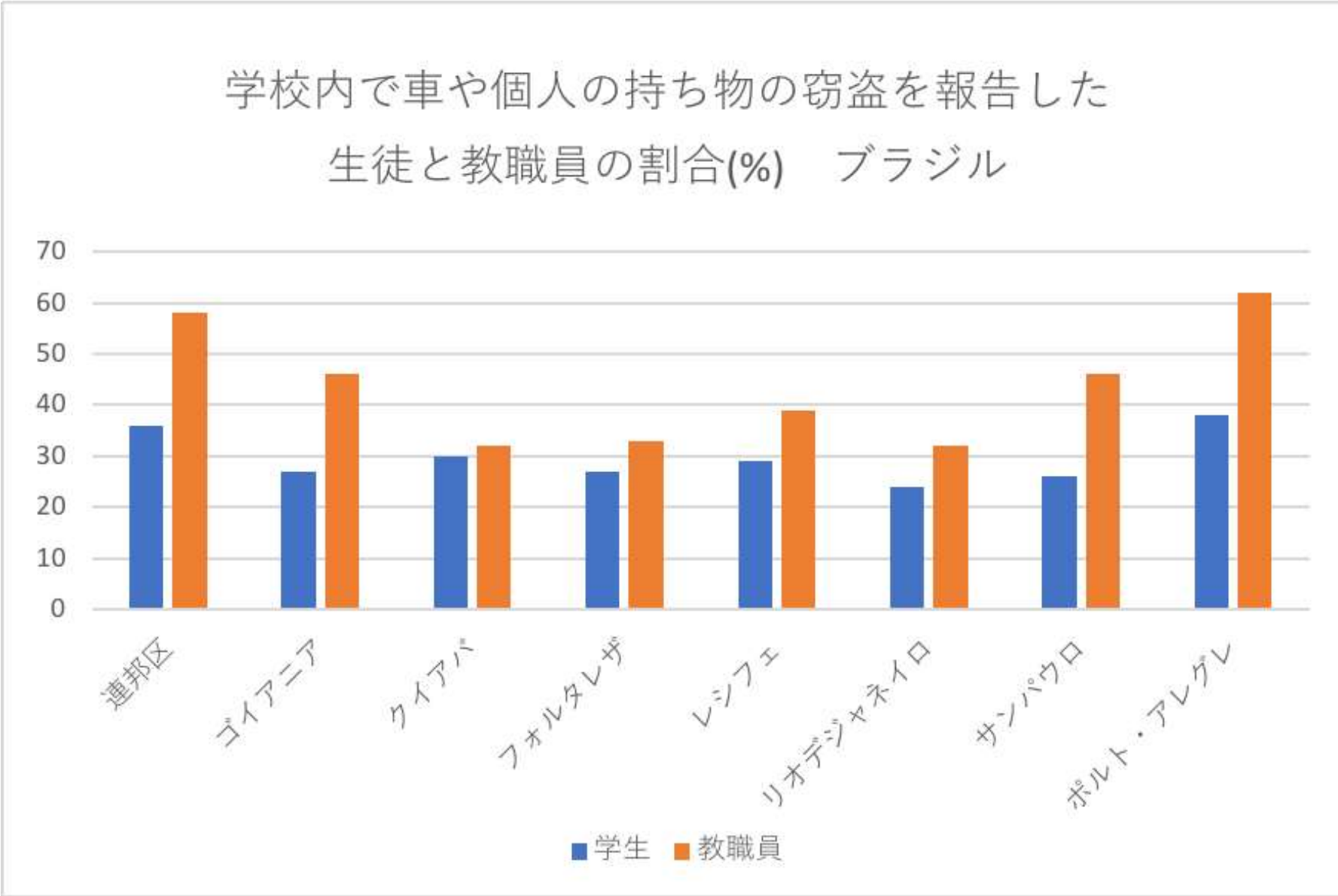
３．学校の特徴

影響要因　学校間の学業成績の格差と学校内での格差、
生育背景が異なる生徒の学校内での統合、
学校を取り巻く環境、学校内外での暴力、
学校資源、学校内での管理

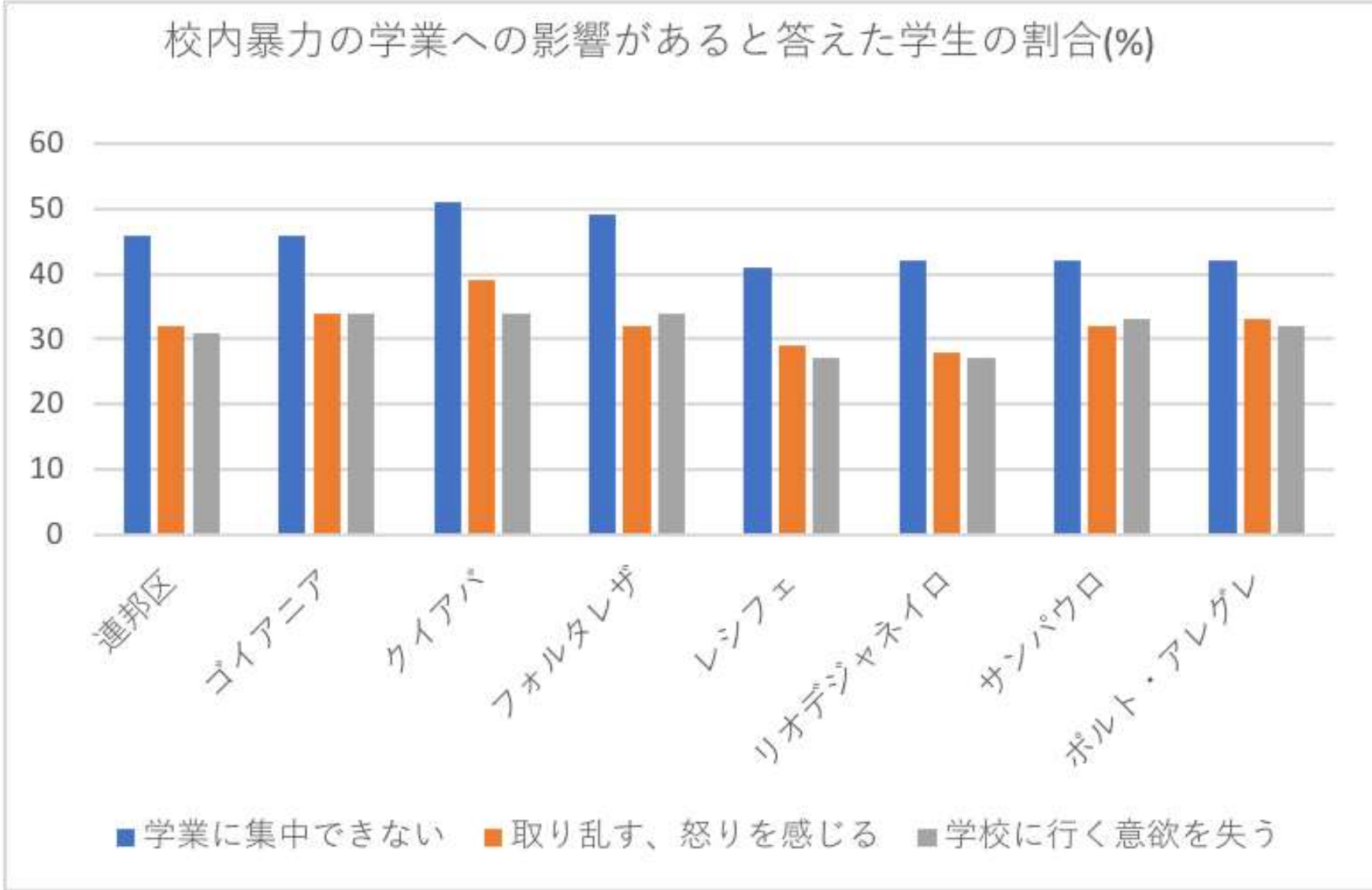
政策・対策⇒脆弱な学校と生徒への支援、教育的社会的政策
の焦点化、教育力と学校の運営力の強化、
更なるインクルージョンのためのアクセスの平等
化と留年への対策、学校を囲む社会的資本の開発

中南米で指摘されつつも教員に意識されない問題？

- 規律
- School climate

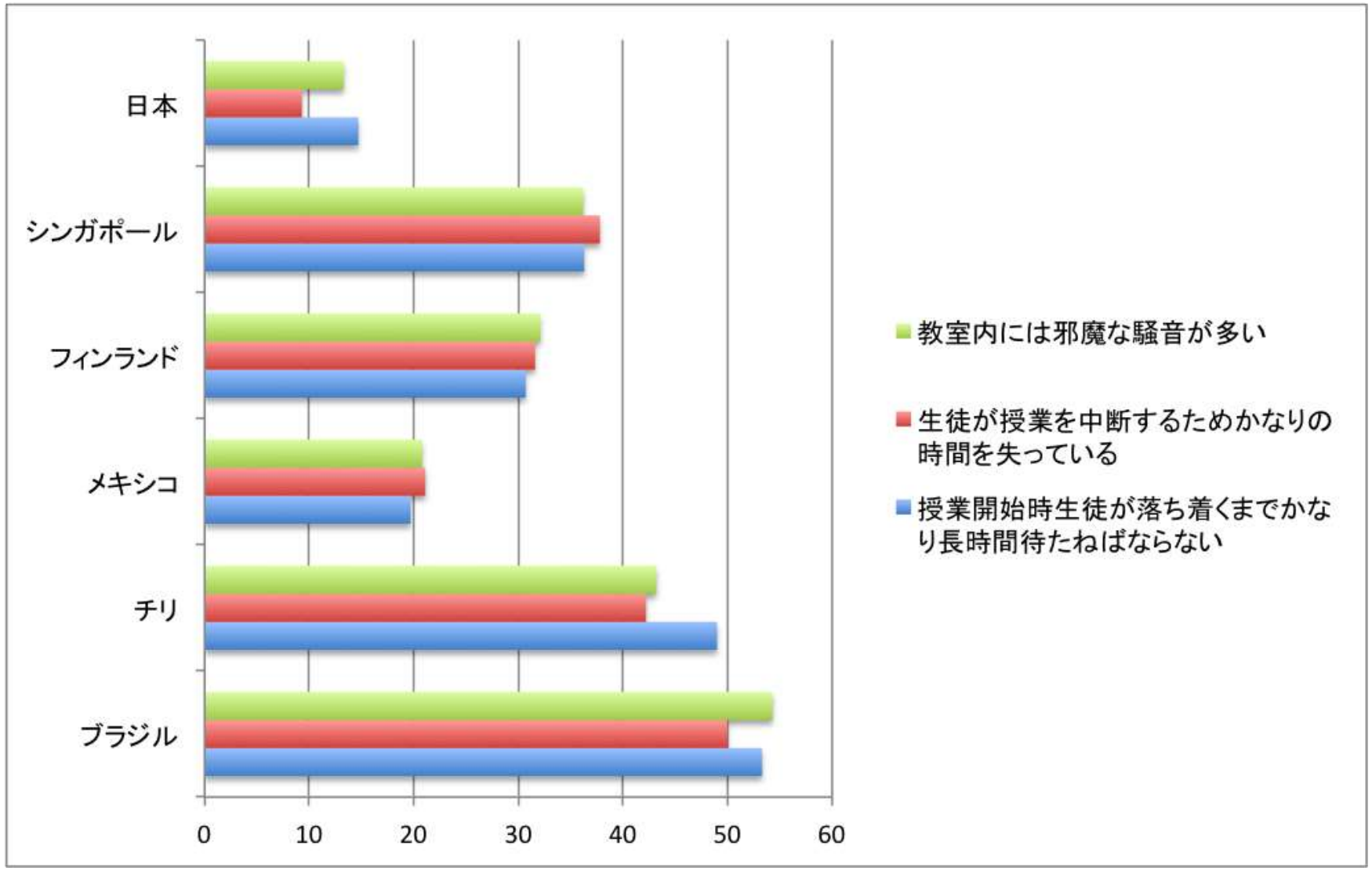


出典）Miriam Abramovay, *Violence in Schools*, p.57より作成。
2000年のデータ。



出典）Miriam Abramovay, *Violence in Schools*, 2005, p.64より作成。2000年のデータ。

教室の規律　担当クラスについて同意または強く同意する中学校教員の割合(%)　(TALIS 2013 Results, p.43より作成)



規律とは

- ルールと秩序に従うよう人を訓練し、従わなければ罰すること、およびこの訓練から生じる行動や状況。
- 自分の行動や生活、仕事の仕方をコントロールする能力。
- (Oxford Advanced Lerner’s Dictionary, 8th edition)

- 社会生活・集団生活を営むために、行為の基準として定められたきまり。または一定の秩序。(明鏡国語辞典　第二版)

- → <u>強制しないで保たれるきまりや秩序</u>。社会性。社会の基盤。

学級集団づくりに学ぶ

- 第１段階　混沌・緊張期　　ルールなし、一人一人バラバラ。
- 第２段階　小集団成立期　　ルール意識される。交流は小集団内にとどまる。　=**ゼロ段階**

- 第３段階　中集団成立期　　ルールかなり定着。小集団複数の連携、学級の半分くらいが一緒に行動できる。
- 第４段階　全体集団成立期　ルールほぼ定着。全員の子供が一緒に行動できる。
- 第５段階　自治的集団成立期　ルールが個々の子供に内在化される。規則正しい全体生活や行動が温和にできる。協力。

まとめ

1. 中南米、自発的近代化の段階へ
2. 初等教育はほぼ普遍化、中等教育が拡大中
3. 質、すなわち学力の問題
4. 地域独自の学力テストで改革に取り組む
5. 多くの要因が明らかにされている
6. 教員に注目
7. 困難な問題→School climate
8. 日本の教育の優位性を中南米の条件に結びつける

参考資料

- Laboratorio Latinoamericano de Evaluación de la Calidad de Educación, *Primer estudio internacional comparativo sobre lenguaje, matemática y factores asociados en tercero y cuarto grado*, UNESCO-Santiago, 1998. (LLECE 第一報告書)
- OREALC/UNESCO Santiago y LLECE, *Factores Asociados al largo de los estudiantes de América Latina y el Caribe*, 2010.(SERCE報告書)
- UNESCO/Oficina de Santiago Laboratorio Latinoamericano de Evaluación de la Calidad de la Educación, *Informe de resultados terce: tercer estudio regional comparativo y explicativo Factores Asociados,* Julio 2015, UNESCO 2016. (TERCE報告書)
- UNESCO, *EFA Global Monitoring Report 2015 Regional Overview: Latin America and the Caribbean*.
- OECD, “History of DAC Lists of aid recipient countries”
- https://www.oecd.org/dac/stats/historyofdaclistsofaidrecipientcountries.htm
- OECD (2014) TALIS 2013 Results: An International Perspective on Teaching and Learning,
- https://www.oecd-ilibrary.org/education/talis-2013-results_9789264196261-en
- Miriam Abramovay and Maria das Graças Rua, *Violence in Schools: Concise versión*, UNESCO: Brasilia, 2005.
- PISA http://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/2015/03_result.pdf
- LLECE http://unesdoc.unesco.org/images/0012/001231/123130S.pdf
- 河村茂雄『主体的な学びを促すインクルーシブ型学級集団づくり』図書文化社、2018年。